

## 〈解答〉

- ① 1 邪馬台国 (漢字)
- 2 ①：大和 ②：大王 (漢字 2 字) (両解)
- 3 (1) ①：天皇 ②：役人 (両解) (2) ウ
- 4 中大兄皇子
- 5 ①：国司 ②：郡司
- 6 天平文化
- 7 遣唐使
- 8 摂関政治

配点 各 1 点 10 点満点

## 〈解説〉

- ① 1 「魏志」倭人伝には、倭は小さな国に分かれ、長い間争いが続いたが、邪馬台国の卑弥呼を倭国の女王にしたところ、争いがおさまったとある。卑弥呼は、まじないによって 30 ほどの諸国を治めた。中国に使者を送り、皇帝から倭王の称号と金印を授けられ、銅鏡 100 枚を得た。
- 2 埼玉県の稲荷山古墳出土の鉄剣や熊本県の江田船山古墳出土の鉄刀と、古墳の分布によれば、5 世紀には、大和政権〔王権〕の王は九州地方から東北地方南部にいたる各地の豪族を従え、大王と呼ばれていた。
- 3 (1) 聖徳太子〔厩戸皇子〕は、冠位十二階の制度を設けて、家柄にとらわれず、才能や功績のある人物を役人に用いようとした。さらに、仏教や儒教の考え方を取り入れた十七条の憲法を定め、役人の心構えを示した。
- (2) 6 世紀の半ばに、百済から朝廷に仏像や経典がおくられ、仏教が伝わった。蘇我氏は聖徳太子とともに仏教を広めようとし、飛鳥地方を中心に、日本で最初の仏教文化が栄えた。これを飛鳥文化という。百済は、4 世紀初めに朝鮮半島西部に建てられた国である。660 年、唐・新羅の連合軍にほろぼされた。ア伽耶〔任那〕は、3～6 世紀、朝鮮半島南部にあり、日本の勢力下にあったといわれる地域である。イ新羅は、4 世紀中ごろ、朝鮮半島南東部に建てられた国である。562 年に伽耶をほろぼし、660 年に唐と結んで百済をほろぼし、668 年に高句麗をほろぼして、676

年に朝鮮半島を統一した。Ⅰ高句麗は、紀元前1世紀に朝鮮半島北部に建てられた国である。4世紀、好太王〔広開土王〕のときに最も栄えたが、668年に唐と新羅の連合軍にほろぼされた。

- 4 中大兄皇子（のちの天智天皇）は、大化の改新の中心人物である。645年、中臣鎌足（のちの藤原鎌足）らと蘇我蝦夷・入鹿の親子を討ち、その一族をほろぼした。それまで豪族が支配していた土地と人民を、公地・公民として国家が直接支配する方針が示された。
- 5 大宝律令は、唐の律令にならい、律は刑罰など、令は政治のしくみなどを定め、律令政治のもとになった法律である。中央には2官8省の役所、地方の国には都から国司が派遣され、地方の豪族が任命された郡司を指揮して政治を行った。
- 6 奈良時代には、仏教や唐の文化の影響を受けた国際色豊かな文化が栄えた。この文化は、聖武天皇のころの年号である天平にちなんで、天平文化と呼ばれる。
- 7 630年の第一回遣唐使の派遣以来、約260年にわたった遣唐使の目的は外交や文化交流であった。894年に遣唐使に任命された菅原道真是、唐の衰えと往復の危険を理由に派遣の停止を訴えて認められた。
- 8 平安時代、藤原氏は、娘を天皇のきさきにし、その子を次の天皇にたてることで、天皇が幼いときには摂政に、成人すると関白という天皇を補佐する職について、政治の実権をにぎるようになった。摂政や関白が中心になって動かした政治を摂関政治という。866年に藤原良房が摂政、887年に藤原基経が関白となったのが始まりである。摂関政治は、11世紀前半の藤原道長とその子の頼通のころに最も安定した。